

第3章 目指す姿と3つの方針

1 目指す姿／スローガン

本計画において「目指す姿」および「スローガン」は以下のとおりです。

目指す姿の実現に向けて、3つの「ACCESS！」により、取組を進めていきます。

目指す姿

市民誰もが生涯を通してスポーツに親しみ元気になることで、
豊かで未来輝く市民生活の実現を図る。

また、スポーツの力で都市の魅力を上げて、国内外から多様な人々を惹きつけ、
地域・経済の活性化を促すことで、まちの成長を目指す。

スローガン

スポーツで ACCESS !



2 目指す姿の実現に向けた3つの方針

目指す姿の実現に向けた3つの「ACCESS！」(方針)は以下のとおりです。

3つの「ACCESS！」(方針)が連動し、プラスに作用することで、スポーツで「まちが成長」の好循環につながります。

方針Ⅰ スポーツでまちの魅力に ACCESS！

重点方針



一歩先を見据えた新たなスポーツコンテンツを創出し、都市ブランド力を高め、スポーツで稼げるまちを実現します。

方針Ⅱ いつでもだれもがスポーツに ACCESS！



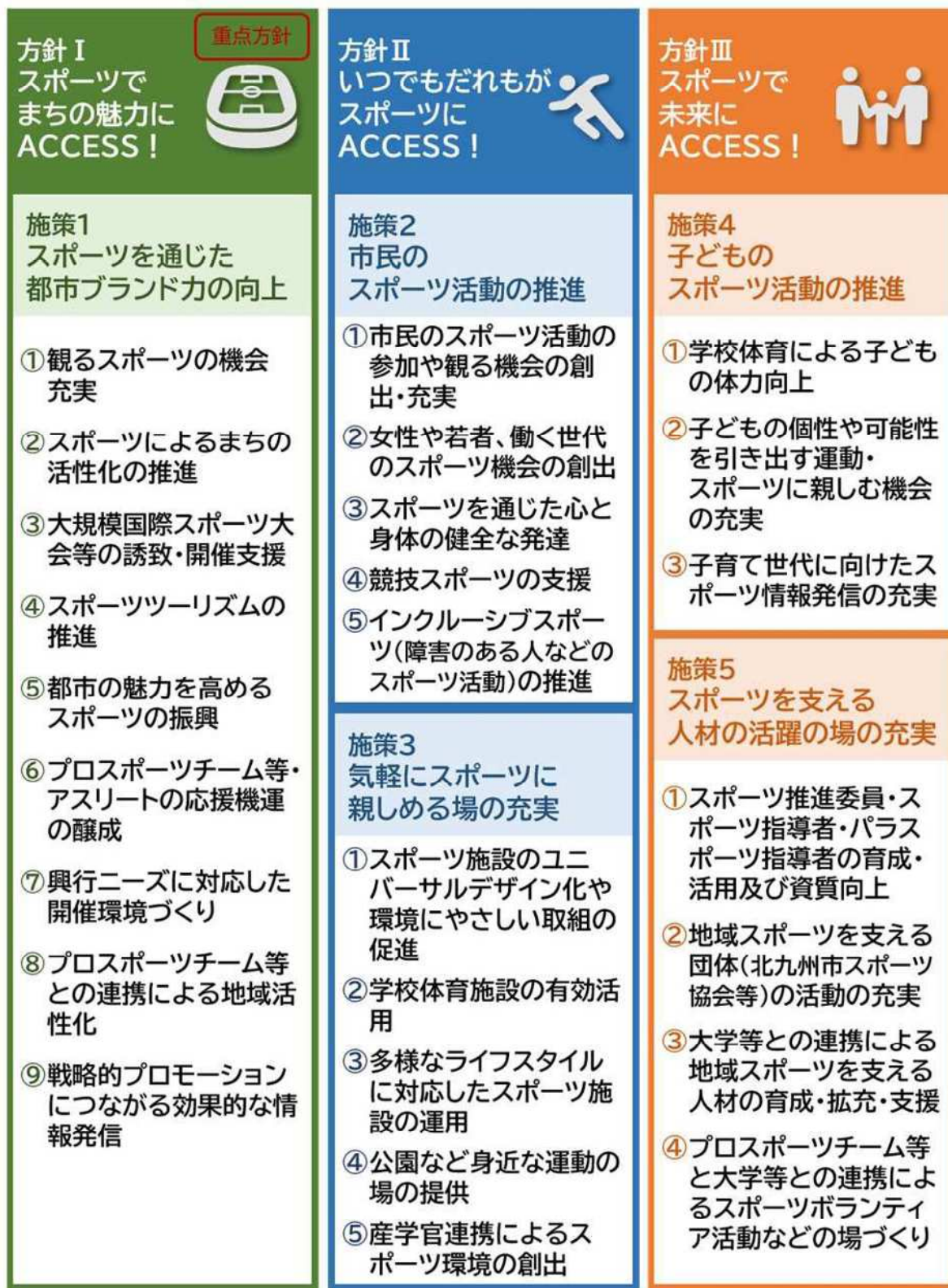
市民のスポーツ活動を推進し、気軽にスポーツに親しめる場を充実させ、ウェルビーイングを実現します。

方針Ⅲ スポーツで未来に ACCESS！



子どもの個性や可能性をはぐくみ、スポーツを支える人材とともに、まちの活力や魅力を向上させます。

第4章 施策体系図



第5章 主要施策

方針Ⅰ スポーツでまちの魅力に ACCESS！

重点方針

施策1 スポーツを通じた都市ブランド力の向上

(1) 観るスポーツの機会充実

市ゆかりのプロスポーツチーム等のホームゲーム開催をはじめ、“駅チカ・海チカ”のスタジアムである北九州スタジアム及びホテルやコンベンション施設の集積などの優位性を最大限活用し、大規模国際スポーツ大会等のレベルの高い大会を積極的に誘致し、観るスポーツの一層の充実に向けた取組を進めます。

(2) スポーツによるまちの活性化の推進

大規模国際スポーツ大会等を誘致・開催し、交流人口を増やしていくとともに、北九州市の観光や文化等の様々な資源との連携を図ることで、北九州市内での滞在期間を延ばしていくなど、スポーツが持つ力でまちの活性化を推進します。

また、スポーツを通じた国際交流を深めることで、北九州市の魅力を知ってもらい、さらなる交流人口の増加を目指します。

(3) 大規模国際スポーツ大会等の誘致・開催支援

北九州市の豊富な大規模国際スポーツ大会等の誘致実績や競技団体等とのネットワークを活かして、さらなる誘致・開催に向けた取組を加速させます。

誘致・開催にあたっては、北九州スポーツコミッションの取組として、例えば「エコフレンドリーなスポーツ大会」といった北九州市の強みを世界に発信できる大会とし、北九州市でのスポーツ大会開催における都市ブランドの浸透を図ります。

また、大規模国際スポーツ大会等の開催を契機とした競技のさらなる普及・振興や、国や人との交流などのスポーツレガシーの取組を進めます。

(4) スポーツツーリズムの推進

スポーツ大会への参加や観戦などを目的とした北九州市内への訪問やスポーツと北九州市の地域資源等を掛け合わせた観光を楽しむスポーツツーリズムを推進することで、交流人口を増やし消費を喚起します。

(5) 都市の魅力を高めるスポーツの振興

大規模国際スポーツ大会等の開催実績があり、北九州市に優位性のあるブレイキンやパルクール等のアーバンスポーツなどを戦略的に振興することで、北九州市の認知度やブランド力の向上、若者にとって魅力のあるまちづくりの推進につなげます。

(6) プロスポーツチーム等・アスリートの応援機運の醸成

市ゆかりのプロスポーツチーム等やトップアスリート・パラアスリートの情報発信を強化するとともに、産学官連携等により市民とのふれあいの機会を創出することで、応援機運の醸成や支援の拡大につなげます。

(7) 興行ニーズに対応した開催環境づくり

近年、人口減少や少子高齢化の進行に伴い、交流人口の拡大を進める都市間競争が激化しています。

そのような中、北九州市の優位性の確立や存在感を発揮していくため、スポーツや音楽ライブの開催などの多様な興行ニーズに対応できる機能や設備を有した多目的施設の必要性の検討や、北九州スポーツコミッションの取組をはじめとした大規模国際スポーツ大会等の受け入れ態勢の強化など、興行ニーズに対応した開催環境づくりを進めます。

(8) プロスポーツチーム等との連携による地域活性化

北九州市のシンボルチームである「ギラヴァンツ北九州」を市民や地元企業等と一体となって支援するとともに、野球やバレーボール、ソフトボールなどの市ゆかりのプロスポーツチーム等も支援することで、市民のシビックプライドの醸成や青少年の健全育成、地域の活性化につながります。

また、これらのチームと連携し、環境やエコに配慮したまちづくりなど、北九州市のチームらしい社会課題解決に向けた取組を進めます。

(9) 戦略的プロモーションにつながる効果的な情報発信

北九州市のSNSアカウントやホームページ等の幅広いメディアを活用し、北九州市の魅力あるプロスポーツ関連情報やスポーツイベント、スポーツ教室等の情報を戦略的かつ効果的に発信します。

また、北九州市で開催される大規模国際スポーツ大会等を契機とし、北九州市の魅力を世界へ発信することで、国際的な認知度の向上などを図ります。

方針Ⅱ いつでもだれでもがスポーツに ACCESS !

施策2 市民のスポーツ活動の推進

(1) 市民のスポーツ活動の参加や観る機会の創出・充実

市民の誰もが、性別や年齢、障害の有無といったそれぞれの置かれた状況に関わらず、気軽にスポーツ活動に親しむことで、ウェルビーイングの向上を実感できるよう、より魅力的な市民スポーツ活動の参加や観る機会を創出・充実させます。

(2) 女性や若者、働く世代のスポーツ機会の創出

スポーツ実施率が比較的低い傾向にある女性や若者、働く世代(25ページ・資料編参照)に向けて、「スポーツを一緒にする仲間づくり」や「スポーツをするきっかけづくり」、「スポーツをしやすい環境づくり」などを通して、気軽にスポーツにアクセスできる機会を創出します。

(3) スポーツを通じた心と身体の健全な発達

スポーツを通じた心と身体の健全な発達に資するため、市民がそれぞれのライフスタイルにおいて、達成感や爽快感の実感、ストレス解消、体力向上などといった目的に応じたスポーツ活動を推進します。

(4) 競技スポーツの支援

市ゆかりのプロスポーツチーム等・アスリートが大いに活躍することは、市民に夢と感動を与えるとともに、シビックプライドの醸成につながります。

そのためには、競技スポーツの振興が不可欠であるため、競技団体や選手への支援を行うとともに、市ゆかりのプロスポーツチーム等やアスリートとも連携したジュニア選手の技術力向上などを推進します。

(5) インクルーシブスポーツ(障害のある人などのスポーツ活動)の推進

障害のある人も、ない人も、ともに同じスポーツに親しみ、交流できるスポーツ活動機会を拡充するとともに、市ゆかりのプロスポーツチーム等と触れ合うことなどで、共生社会の促進を図ります。また、障害のある人や高齢者などが、障害の有無や程度に関わらず、それぞれの身体状況やニーズに応じて、より身近に、より積極的にスポーツ活動に親しめる環境や機会を拡充します。

施策3 気軽にスポーツに親しめる場の充実

(1) スポーツ施設のユニバーサルデザイン化や環境にやさしい取組の促進

高齢者や障害のある人をはじめ、全ての市民が、「わかりやすい」「利用しやすい」スポーツ施設となるようユニバーサルデザイン化を促進します。

また、SDGs 未来都市として持続可能なスポーツ施設を目指すため、施設の更新時や大規模改修時などには先進的な省エネ・創エネ技術の導入を検討するなど、時代に即した環境にやさしい取組を進めます。

(2) 学校体育施設の有効活用

北九州市はこれまで、市民が気軽にスポーツ活動や健康づくりに親しめるよう、地域に根差した学校体育施設を、地域スポーツ活動の場として市民に開放する取組を行っています。

今後も、学校教育に支障のない範囲で小学校及び中学校の体育施設を有効活用します。

(3) 多様なライフスタイルに対応したスポーツ施設の運用

市民の誰もが、それぞれのライフスタイルに応じて、身近で安心してスポーツ施設を利用でき、気軽にスポーツにアクセスできるよう、スポーツ施設の効率的かつフレキシブルな運用について検討します。

また、安全安心なスポーツ施設を維持していくため、公共施設マネジメントを踏まえ、スポーツ施設の長寿命化や「選択と集中」による集約・拠点化などの取組を進めます。

(4) 公園など身近な運動の場の提供

公園やまちなかのオープンスペースなどにおいて、身体を動かした遊びや、心身のリフレッシュのための軽い運動を行う場の提供に必要な仕組みづくりや環境づくりを進めます。

(5) 産学官連携によるスポーツ環境の創出

市民がよりスポーツにアクセスしやすい環境づくりのため、スポーツ施設や公園のみならずまちなかのオープンスペースの活用に加え、産学官連携による企業や大学等の施設の活用などの検討を進めます。

方針Ⅲ スポーツで未来に ACCESS !

施策4 子どものスポーツ活動の推進

(1) 学校体育による子どもの体力向上

健やかな身体の育成のためには、幼児期から運動やスポーツをする環境を整えることで、運動が好きな子どもや日常的な運動習慣を持つ子どもを増加させ、子どもたちが生涯にわたって運動やスポーツに取り組む土台づくりが大切です。

このため、成果を上げている北九州市の学校体育プログラムを推進し、「運動好きな子ども」「運動量の豊富な子ども」を育て、子どもの体力向上と豊かなスポーツライフの実現を図ります。

(2) 子どもの個性や可能性を引き出す運動・スポーツに親しむ機会の充実

子どもの個性や可能性を引き出すことを目的とし、教育委員会等の関係機関や総合型地域スポーツクラブ等と連携することで、幼児・児童・生徒が成長に応じた運動・スポーツに親しむ機会の充実を図ります。

また、プロスポーツチーム等の試合や大規模国際スポーツ大会等の観戦により、子どもたちが本物のスポーツにアクセスする機会を提供します。

(3) 子育て世代に向けたスポーツ情報発信の充実

全ての子どもが、それぞれの個性や可能性に応じた日常的なスポーツ活動をそれぞれに選択し気軽にアクセスし、スポーツをはじめのきっかけづくりとなるよう、子育て世代に向けて、子どものスポーツ活動の情報をSNS等の様々な媒体を活用して、周知・PRすることでスポーツ情報発信の充実を図ります。

施策5 スポーツを支える人材の活躍の場の充実

(1) スポーツ推進委員・スポーツ指導者・パラスポーツ指導者の育成・活用及び資質向上

市民のスポーツ活動を持続可能とし、より安全で健全なスポーツ環境を支えるため、生涯スポーツや競技スポーツ、パラスポーツといったそれぞれの分野でスポーツを支える人材の育成・活用及び資質向上に向けた取組を進めます。

(2) 地域スポーツを支える団体(北九州市スポーツ協会等)の活動の充実

市民誰もがスポーツにアクセスできる環境を高めるため、地域スポーツを支える団体との連携により、スポーツ教室・健康教室などを開催し、市民のスポーツ活動の充実を図るとともに、地域スポーツを支える人材の活躍の場づくりを行う団体の活動を支援します。

(3) 大学等との連携による地域スポーツを支える人材の育成・拡充・支援

大学等との連携により、地域スポーツを支える人材や学生の育成、機会づくり等による育成の場の拡充・支援を図ります。

特に、学生の育成や育成の場の拡充の支援に取り組むことで、学生のスキルやノウハウの習得を促進し、在学中や卒業後における次世代の地域スポーツを支える人材の持続的な確保を図ります。

(4) プロスポーツチーム等と大学等との連携によるスポーツボランティア活動などの場づくり

北九州市を拠点とするプロスポーツチーム等と大学等との連携により、学生・生徒がスポーツボランティア活動、スポーツの運営や集客策の検討など、多様な形でスポーツに参画する機会を創出し、スポーツを通じた地域活性化の一端に携わることができる環境づくりに取り組みます。

また、学生・生徒のプロスポーツチーム等に対する応援機運やシビックプライドの醸成を図ります。

第6章 計画の目標

1 計画の目標

計画の推進にあたっては、以下を計画の目標とし、スポーツの特性を踏まえ、目標の達成に向けて、各施策を展開していきます。

目標 ① スポーツを身近に感じる市民の割合 70% (令和11年度目標)



スポーツに親しむ(観る、参加する)機会に恵まれているまちだと感じる市民の割合。

<現状 スポーツを身近に感じる市民の割合 44.4%(令和4年度)>

目標 ② スポーツ実施率 70% (令和11年度目標)



週に1日以上、運動・スポーツを行っている市民の割合。

<現状 スポーツ実施率 56.6% (令和4年度)>

目標 ③ スポーツ観戦率 40% (令和11年度目標)



過去1年間で直接、競技会場(市外の会場も含む)でスポーツの試合を観戦した市民の割合。

<現状 スポーツ観戦率 20.0% (令和4年度)>

目標 ④ 観光消費額 1,800 億円 (令和10年度目標)



観光客数(実数)×観光消費単価により算出される数値。

(北九州市基本計画における主要な成果指標の一つ)

<現状 観光消費額 827億円 (令和4年)>